

ICA隔年會合 2022年9月19日～23日 イタリア・ローマ
「アーカイブズで橋を架ける」
Archives Bridging the Gap

凡例

アーカイブズで民主主義のギャップを埋める
アーカイブズで距離的ギャップを埋める
アーカイブズで文化的ギャップを埋める
アーカイブズでデジタルギャップを埋める

ワークショップ
ICAセッション
国立公文書館長フォーラム (FAN) セッション

9月21日(水)						
9:00-9:30	全体セッション P1 開会式					
9:30-10:15	全体セッション P2 基調講演: ロザリオ・サルヴァトーレ・レアイタラ(国際刑事裁判所(ICC)裁判官), ジュリア・パレラ博士(イタリア国立公文書館)から紹介					
10:15-10:30	休憩					
10:30-12:00	1.1 アーカイブズの連帯: 戦争と平和の時代におけるアー キビストの相互協力	3.1 国、コミュニティ、コレクション	NP1 ICA新規専門職 誰の物語を語るのか? インクルーシブなデジタル化 戦略のための実践的行動	4.1 デジタル変革に立ち向かう アーカイブズ	デジタル・物理的記録の管理専 門家グループ(EG-MDPR) 主催 セッション 「(再)接続」	盗難・不正取引・改ざん防止専 門家グループ(EGATTT) によるプロジェクトと 最近の貢献
12:00-13:30	昼食					
13:30-15:00	4.2 アーカイブズ領域における 人工知能	3.2 橋渡しとギャップ解消のための アーカイブズにおける 革新的な取組	2.1 人道的・衛生的危機に 関する集団的記憶の構築	LT ライトニング・トーク	ワークショップ 1	ワークショップ 2
15:00-15:45	ポスターセッション 1					
15:45-17:00	2.2 持続可能な開発と経済的 実現性	4.3 データ処理における アーカイブズの視点	3.3 植民地主義とアーカイブズ	1.2 政府系公文書館は民主主義の 実現に貢献する	ワークショップ 1	ワークショップ 2
17:00-17:30	休憩					
17:30-19:30	ICA総会					
9月22日(木)						
9:00-10:30	1.3 過去からの教訓: 正義と癒しを支える アーカイブズ	2.3 ユーザーニーズの再確認と 新たなサービスの提供	NP2 ICA新規専門職プログラム ギャップ: 今日の新任専門職の役割と 責任、そして課題の分析	FIDAセッション		
	現在に対処するために過去から 学ぶ: エボニック インダストリー AGの記憶文化への企業アー カイブズの貢献 Dr. Andrea Hohmeyer	ユーザーへ直結(するディレク トリー): アーカイブズと研究者の 距離を縮めるディレクトリーの役 割 Prof. Heather Dean Dr. David Sutton Prof. Elizabeth Bassett	Oscar Zamora Flores Janny Sjöholm Gina Chacon Vargas Susannah Tindall Lerato Tshabalala Laura Yturbe Mori	FIDA: 記録とアーカイブズの世界 を変える、この時代に一つのプロ ジェクト 国際アーカイブズ開発基金 (FIDA) 理事会		
	あるべき場所を離れた人々の 家、土地、財産の記録を守る: 分 散型トラスト技術の利用 Dr. Victoria Lemieux	人間と機械学習: 歴史的コンテン ツにおけるユーザーコミュニティ と新技術の橋渡し John Kimball Alexander Ian Carl James	知識の多層性: デジタルアーカイ ブと南米マプuche族の歴史の脱 植民地化 Dr. Allison Ramay Dr. Joanna Crow	公開された公文書のディストリ クト・カタログ: ポゴタ市の開かれた 政府と直接民主主義のための貢 献 Alvaro Arias		
	ギャップを埋める: アーカイブズ が個人の記憶の隙間を埋めると き、本当にすべてのギャップを埋 めることができるのか? 達成され た使命と失われた幻影の間で Anouk Dunant Gonzenbach Pierre Flückiger	ヘリテージ・サンプル・アーカイ ブズを解き放つ: アーキビストの鍵 となる役割 Dr. Maria Mata Caravaca Dr. Alison Heritage				

10:30-10:45	休憩					
10:45-12:00	全体セッション P3 基調講演: ジェフリー・ヨー					
12:00-13:30	昼食					
13:30-15:00	3.4 コミュニティ・アーカイブズと 周縁化された集団	(14:00-15:15) FANセッション	1.4 橋を架けたいなら技術者が 必要だ: デジタル時代の レコードキーピングのギャップ	4.4 デジタル保存: ローカルと グローバルな解決法	ワークショップ 3	ワークショップ 4
	コミュニティとその記憶のギャップを埋める: 3大陸におけるコミュニティ・アーカイブズの比較 イギリスのコミュニティ・アーカイブズ Dr. Andrew Flinn ポーランドのコミュニティ・アーカイブズ Dr. Magdalena Wiśniewska-Drewniak ポルトガルのコミュニティ・アーカイブズ Dr. Luisa Metelo Seixas ブラジルと中国のコミュニティ・アーカイブズ Dr. Monica Tenaglia	円卓会議 ナショナル・アーキビストにとっての新たな課題	社会正義と民主主義のための改革へのロードマップを構築する。 Laura-Ioana Luca 情報資産へのガバナンス・アプローチの採用: 民主主義のための持続可能な枠組 Shadrack Venson より少ない壁とより多くの橋: 未来のアーキビスト、そして現在のアーキビストが、民主主義を救うには Laura Millar	都市のデジタル文化を救う: グローバルな問題に対するローカルな解決策 <イタリア語> Dr. Paolo Ceccconi 南アフリカ・クワズール・ナタール州の自治体におけるウェブアーカイブの枠組 Dr. Lungile Precious Luthuli Prof. Mpho Ngoepe 記録とアーカイブズのギャップを埋める: 長期スパンのMicrosoft 365コンテンツの移管とデジタル保存の自動化 Gareth Bennett Ann Keen	歴史的アーカイブズのデジタル化の設計と実施、そして強化 <イタリア語> Dr./Dr.ssa Luca Panini Dr./Dr.ssa Giorgio Spinosa Dr./Dr.ssa Giovanni Borelli	メンタープログラムの開発: プログラムの確立、メンターのサポート、指導を受ける側の利益の確保 Margaret Crockett Cécile Fabris Becky Tousey Victor Kabata Nicola Laurent
15:00-15:45	ポスターセッション 2					
15:45-17:00	2.4 市民とアーカイブズのためのネットワーク構築	FAN Session ウィーン条約への回帰	4.5 レコード・イン・コンテキスト (RIC) の適用	3.5 文化的ギャップを埋める ユーザー中心型 アーカイブズの構築	ワークショップ 3	ワークショップ Workshop 4
	アーカイブズをつなぐ: 日本国立公文書館と地方公文書館の連携 YAMATANI Hideyuki 中央アフリカにおけるアーカイブズのネットワーク化による距離の克服 <フランス語> Jean-Claude Mbassi Ndzengue 南アフリカのハウテン州立公文書館におけるスポーツの記憶の収集を通じた包摂的アーカイブズの構築に向けて Prof. Nampombe Sauroombe Prof. Mpho Ngoepe Joseph Matshotshwane	Dr. James Lowry Dr. Nadia Caidi Dr. J.J. Ghaddar Dr. Forget Chaterera-Zambuko Dr. Jamaa Baidia Dr. Stanley Griffin	ありがとうISAD(G)、ようこそRIC-O Ivo Zandhuis Merel Geerlings Marc Holtman 古典的なファインディングエイズからRIC-Oナレッジグラフへ: エンドユーザーへの新しい視点の提供 Dr. Florence Clavaud Pauline Charbonnier MemoriavによるMemobase: スイス製AV集約プラットフォームのセマンティックウェブとリンクトオープンデータに向けた展開 Roberta Padlina スイスの文化遺産データのアグリゲーションフォーマットとしてのRIC活用 Prof. Tobias Wildi	#archivesgateway - パレルモ州立公文書館が街に開かれる: G.A.N.C.I.A (グリーン・アクセシビリティ・ニュー・シティ・イノベティブ・アーカイブ) Dr. Francesca Di Pasquale Dr. Florigia Giallombardo Dr. Carmen Genovese Dr. Flora La Sita 図書館の壁を破る、次世代との橋渡し Vasiliki Gerontopoulou Dr. Maria Pazarli Kostas Diamantis アーカイブは市民に明確に語りかけているか? Pontifex (古代ローマの大神官) としてのアーカイブ Blanca Bazaco	歴史的アーカイブズのデジタル化の設計と実施、そして強化 <イタリア語> Dr./Dr.ssa Luca Panini Dr./Dr.ssa Giorgio Spinosa Dr./Dr.ssa Giovanni Borelli	メンタープログラムの開発: プログラムの確立、メンターのサポート、指導を受ける側の利益の確保 Margaret Crockett Cécile Fabris
(19:00-21:00 ガラディナー)						
9月23日(金)						
9:00-9:45	全体セッション P4 基調講演: アン・J・ギリランド					
9:45-10:00	エメット・リーヒー賞授与式					
10:00-10:30	休憩					
10:30-12:00	4.6 アーカイブズの記述: 新しい技術、 新しいフロンティア	ICA Session ICA著作権宣言	3.6 専門職研修における 文化的ギャップ	2.5 境界の開放と 関心を高めるための取組	ワークショップ 5	ワークショップ 6
	エンティティからリレーションシップへ: アーカイブズ記述のためのリンクト・オープン・データの活用 <イタリア語> Dr. Giovanni Bruno Dr. Fabiana Guernaccini 汎アーカイブズのリンクト・データ・カタログ・サービスの開発: アーキビスト、システム開発者、そして頭痛の種について Jone Garmendia 情報社会を支えるオープンデータとしてのアーカイブズの活用: UAE連邦図書館・公文書館の役割 Dr. Mehluli Masuku Shehab Alhefeiti	なぜアーキビストは著作権について知る必要があるのか Dr. Jean Dryden 著作権に関する政府のアーカイブズ政策への影響力: 政策担当者の視点 Malcolm Todd ICA著作権宣言の教育・研修への活用 Margaret Crockett	アーカイブズによってカメルーンの専門職のギャップを埋める: 能力構築の必要性 Esther Olembe Ernestine Lukong Tomla サウジアラビア王国におけるアーカイブズ専門職の育成と教育 Prof. Mohamed Khawlah Alshuwaer Ticha: アーカイブズの文字と学際、ステークホルダーをつなぐ架け橋としてのデジタル研究 Dr. Brook Danielle Lillehaugen Dr. George Aaron Broadwell Dr. Felipe H. Lopez Dr. Xóchitl Flores-Marcial	アーカイブズ・ポータル・ヨーロッパ・インジェクションから自動ピックアップ検出まで Dr. Kerstin Arnold Dr. Marta Musso Dr. Zoltán Szatucsek Dr. Bogdan Popovici アラビア湾デジタル・アーカイブ (AGDA) のギャップを埋める Hamad Almutairi Chris Mumby アーカイブズがナイジェリアの民主主義のギャップを埋める Ese Eunice Anenene	気候変動への対応としてのアーカイブズ建築への取組み: 4つの特徴的気候環境におけるケーススタディ Timothy Charles Harris Odile Welfele Alexis Leduc France Saie Belaisch	対話としての著述: 『コンマ』を通じて世界的アーカイブズ文献への寄稿を行うためのワークショップ Bethany Anderson Frans Smit
12:00-13:30	昼食					
13:30-15:00	3.7 社会と人権の架け橋となる アーカイブズ	1.5 コミュニティ・アーカイブズや 家族アーカイブズを繋ぐ橋	4.7 人工知能を活用した 記録の管理・保存・検索	2.6 ローカルに働き、 グローバルに考える: 地域社会との距離を縮める	ワークショップ 5	ワークショップ 6
	カナダ・レジデンシャルスクールの無名墓地 Raymond Frogner 真相究明委員会の記録を探す Antonio González Quintana Sahar Ammar Romain Ledauphin 人権を守るための実践の見直し: オーストラリア家庭外養護施設における児童期の記録管理に対する生涯にわたる権利に係る憲章 Sue McKemish Barbara Reed	民主主義のギャップを埋める: 近代国家カタールの家族アーカイブズ Wassilena Sekulova 韓国のコミュニティ・アーカイブズとのギャップを埋める: 可能性、課題、洞察、そしてコミュニティからの学びを解き明かす Dr. Jung Yeon Lee スコットランドの公文書館を開放する: アクセシブルで、包括的で持続可能なコミュニティ・アーカイブのネットワークを構築するための、能力向上とデジタルスキルの提供 Audrey Wilson	人工知能の手法による資料群の再構築: 最先端の状況と今後の展望 Prof. Stefano Allegrezza 公共機関からチリ国立公文書館への電子記録の移管の実施 Pilar Diaz Ellis Garbiela Andaur AIを活用した健康研究の新時代へ Dr. Bjørn Børresen Elin Bjørnstad-Tuveng Gina Helstad	地域の文書化を通じて少数民族のコミュニティの力を高める: カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校のアーカイビングと監督管理 Dr. Mario H Ramirez コミュニティ・アーカイブズと国との連携 Katarzyna Ziętał 参加型デザインの場としてのアーカイブズ Prof. Giovanni Michetti	気候変動への対応としてのアーカイブズ建築への取組み: 4つの特徴的気候環境におけるケーススタディ Timothy Charles Harris Odile Welfele Alexis Leduc France Saie Belaisch	対話としての著述: 『コンマ』を通じて世界的アーカイブズ文献への寄稿を行うためのワークショップ Bethany Anderson Frans Smit
15:00-15:45	ポスターセッション 3					
15:45-17:00	全体セッション P5 閉会式					